

福祉みえ

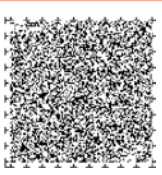


今月号は、熊野市社会福祉協議会さんから素敵な写真を提供いただきました。

福祉みえでは、表紙に掲載する写真を募集しています。応募については、本会ホームページをご覧ください。

contents

- 特集：地域共生社会の実現に向けたふれあいの輪を ……2
- 連載：仕事のワタシ、普段のわたし ……5
- 赤い羽根共同募金運動が始まります ……6
- information ……7
- 三重県共同募金会からのお知らせ ……8



福祉みえでは、2～4ページの特集記事に uni-voice による音声コードを導入しています。

2022年 **9** 月号
No.375

ふれあいネットワーク

特集

地域共生社会の実現に向けたふれあいの輪を〜地域の外国人支援とその生活から〜

日本に住む外国人の数は約288万7千人（令和2年12月現在）、労働者数は約172万4千人（令和2年10月現在）で、いずれも年々増加傾向にあります。地域共生社会の実現を目指していくうえで、外国にルーツを持つ人の理解は必須と言えます。そこで今回は、外国人支援をしている団体の方や、実際に日本で生活する方のお話を聞き、地域共生について考えたいと思います。

——活動を始めたきっかけなどを教えてください。

私自身、4年間インドネシアで生活をして外国人として苦労をしました。日本に戻ってきて、地元の伊賀にもたくさん外国人が住んでいて、言葉や文字の壁から医療や教育、行政サービスなど、暮らしていくうえでの困りごとがあることがわかってきて、伊賀の伝丸を設立しました。

伝丸では、生活相談や病院通訳、一般通訳、翻訳、外国語講座などを行っています。一方的な支援というより、共に住みやすい地域をつくっていくために活動しています。

特に最近はや々な要因が合わさって課題が複雑化しています。

——課題が複雑化しているとは。

例えば、ヤングケアラーが非常に話題ですが、コミュニケーション面で同じように家族を背負っている子ども達もいます。学校や近所の大人たちと両親の間に小学生が入れないといけない。自治会からゴミの出し方を注意されるとか。そういうネガティブな話題を子どもから親には伝えるのはすごくプレッシャーになります。

加えて、親が持っている母国の文化と自分が育っている日本の文化や社会とのギャップで苦しむ場合も多いです。親への支援とともに子どもへのケアも必要ですね。

また、子どもの頃に来日した場合、3ヶ月程度の日本語の初期教育（※）が終わるとすぐ一般の教室に合流するんです。小学校低学年くらいならなんとかなりますが、中学校だと小学校で習った事が前提になる用語が出てきたりして授業についていけない。中には不登校になる子もいます。でも母

伊賀の伝丸

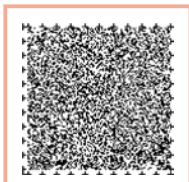
つたまる

代表 和田 京子さん



1999年、通訳ボランティアなどの有志約20名により設立。2003年に通訳翻訳を中心としたコミュニケーションズとして起業。2005年にNPO法人格を取得。以来、通訳・翻訳を通じて外国人支援の県内での草分け的存在として活動を続ける。

※初期教育のない地域もあります



国語が十分かという点、家族と日常会話くらいしかしてなくて、大人になってもどちらでも十分ではない状態の人もあります。彼らの子どもも、同じようにどちらでも十分ではないという連鎖ができる場合があります。

もちろん上手に育ててバイリンガル、トリリンガルになったり、大学の研究職に就いたりという人もいて、逆に私たちが助けてもらったりしています。

——外国人を支援していくうえで課題などがあればお教えください。

外国人に対する国の方針の影響というの大きいと思います。既に様々な職種で、外国人労働者は共に日本を支える力となっていると言えますが、政治には参加できなかつたり、特定の職業に就くことができなかったり、課題は多くまだまだ十分ではないですね。日本語教育基本法が整備されたり、かつてに比べて格段に良くなってきたと思いますので、これからも一緒に町をどう作っていくかを考えながら活動していきたいと思っています。

社会福祉法人青山里会で介護職として働く

林田マリナさんと、ホセン・アクタルさん

——仕事のやりがいなど教えてください。

林田 人と人との繋がりが好きなので、利用者さんとのコミュニケーションを大切にしています。お父さんが施設入所していた時に親切にしてもらって、声掛けって大事だなと思ったので、自分も声掛けを大切にしています。

ホセン 利用者さんの近くで信頼関係を作って、しっかりと聴いて、ちよつと手伝うことが大切だと思います。それで利用者さんから「ホセンさんで嬉しいわ」って言ってもらえたのがすごく嬉しかったですね。

——休みの日は、何をして過ごしていますか。

ホセン 妻が最近日本に来たので

2人で料理をしたり、家の近くの畑で野菜を作っている。その世話をしています。また、毎週金曜日はお祈りの日なので、その日は妻と外出して楽しんでいます。

林田 以前は、他のデイサービスでレクリエーションのボランティアをしていましたが、コロナ禍でそれも出来なくなりました。今は家族とウォーキングしたり、夏は家の庭でプールをしたりしています。外食もしないないので、あのお店あのメニューが食べたくなって思ったら、インターネットで調べて自分で作ってみたりしています。

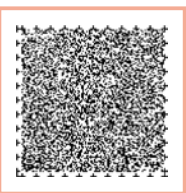
——日本人と外国人を分けて考えたり、そう見られていると感じたりしますか。

林田 娘の通う中学校に行くと、差別まではいってないんですけど、ブラジル人だなんていう気持ちは、少しあるかもしれません。

ホセン そういう人もいるかもしれないけど、僕の職場ではそういう感じはありません。日本語に慣れていないから簡単な言葉を使って優しく教えてくれる。あまり厳しい気持ちも出さないし、怒ることもないです。強く言う人もいるけど、外国人だからという感じではないですね。

——出身国と日本の文化や考え方の違いを感じたことなどはありますか。

ホセン 信仰の理由でお酒はダメなんですけど、日本ではどこでもお





林田 マリナ さん

20年前に日本人の父とブラジル人の母とともに来日。10年前、父の施設入所をきっかけに福祉の道へ。現在は介護福祉士目指して勉強中。

林田 行事やイベントがとても多いのに驚きました。ブラジルはクリスマスから新年にかけて、カーニバルくらいしか季節の行事はないけど、夏祭

酒を売っているのに驚きました。豚肉も食べてはいけませんが、日本はそういうことは無く、鶏肉料理を買っても豚の材料が入っていたりするので、気を付けています。あと、なんととっても箸を使って食べることです。バングラデシユは手で食べるのが一般的なので最初は苦労しました。

林田 まずは介護福祉士を目指します。日本で結婚して子どももいるので、この仕事はずっと辞めずに続けていきたいです。そして、外国人が入る介護施設を作りたい

——将来の目標や夢などがあれば、教えてください。

りやハロウィンや、仕事をしていたても季節の行事がとても多いなと思いました。あと、夏にそうめんとか、季節に応じて食べ物を変えるのもブラジルではあまりないですね。

取材を終えて
日本に住む外国にルーツを持つ人たちは多様化し、抱える課題も多様

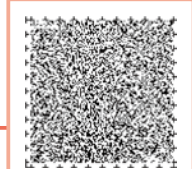
取材を終えて

ホセン いつかバングラデシユに帰ったら、日本の介護の経験を伝えたいと思います。バングラデシユの介護は全部やってあげる介護です。日本のように、本人ができない部分を支える介護はとても良いと感じます。

いなという気持ちがすごくあります。

ホセン・アクタル さん

留学生として来日し、日本語学校で次の進学先として介護専門学校を勧められて東京から三重へ。介護福祉士を取得し、在留資格は「介護」。



ホセン 地域共生社会の実現には、住民が世代や背景を越えてつながることが必要とされています。和田さんは支援を通じて、ホセンさんや林田さんは職場を通じてつながりを作ったり、そのきっかけになる対話やふれあいを重ねています。
言葉の壁は高いかもしれませんが、私たちも日々の業務や日常から、そのようなつながりを育んで、少しずつ大きくしていくことを目指したいと思います。

文化・複雑化してきている一方、文化の違いを互いに受け入れながら、日本で生活する様子を聞かせていただくことができました。



仕事の「バランス」、普段のわたし

——みんなのワークライフバランス——

第3回

今回は、児童養護施設みどり自由学園の小川麗奈さんにお話を伺いました。



現在のお仕事内容を教えてください。

三重県津市にある児童養護施設みどり自由学園で保育士として働いています。みどり自由学園は津市に本園があり、私は松阪市にある分園の地域小規模美鈴の家で小中高校生の幅広い年齢の女子児童が集まるグループで生活支援をしています。

児童養護施設は家庭での養育が困難な子どもたちが生活をしている施設です。普段子どもたちは学校に通い、衣食住が確立された空間で普通の家庭の子ども達と何一つ変わらない生活をしています。私たちはその子どもたちの食事準備や生活空間の

整備などの日常生活の支援に加え、学校の懇談や児童相談所との面談にも対応して子どもたちの将来を見据えて支援しています。日々の生活の中で、施設全体では食育を重要視しています。毎日の健康的な食事やマナー、季節に応じた料理を作り楽しんでいきます。私はお菓子作りが趣味なので手作りケーキでお誕生日をお祝いしたり、手作りのお菓子をおやつとして提供しています。子どもたちの日常生活が少しでも豊かになり子どもも職員も楽しく生活ができるような空間を目指していきたいです。



フルーツとわたし

お食事会

休日の過ごし方や仕事とプライベートの切り替え方を教えてください。

仕事とプライベートは切り替えているつもりでもつい仕事の事がよぎってしまう事があります。できるだけ何かに没頭したり美味しいものを食べる、ゆずのライブに行ったり日常から離れるようにしています。

特に普段からできる趣味のお菓子作りやフルーツはとても良いストレスの発散になっています。お菓子作りに関してはレシピにとらめっこしながら色々なお菓子に挑戦しています。クッキーやケーキ、マフィンをよく作るので友人の誕生日や母の日にプレゼントしました。相手が喜んでくれることも幸せになります。時には作ったものを一人でお腹いっぱい食べるという至福の時間も過ごしたりします。フルーツは中学生のころ吹奏楽を始めた時に会いずっと続けています。今ではレッスンに通い好きな曲を演奏する程度です

が、友人の結婚披露宴の余興で演奏することになったので学生時代のフルーツの同期と練習中です。数人でアンサンブルをするとハーモニーが気持ちよく、一人で演奏するのは違い最高に楽しいのです。

また今年になってから、三重県の美味しいごはん屋さんを開拓したい!!と思いついて津市から松阪市、伊勢市までフレンチやイタリアン、焼き肉、ラーメン、かき氷など美味しいものを求めて出かけています。自分へのご褒美としてデザートまでしっかり平らげているのでいつも大満足です。今はコロナの影響で自由にできる事が制限されることもありませんが、その中でもしたいことできる事を見つけて仕事も休日も充実させて過して行きたいです。





10月1日から 赤い羽根共同募金運動が始まります

赤い羽根共同募金

共同募金運動は、昭和 22 年に「国民たすけあい運動」として始まって以来、県民の皆さまの善意に支えられ、地域福祉活動の推進に貢献してきました。

共同募金へお寄せいただいた寄付金は、県内各地の地域福祉のために役立てられます。

本年もコロナ禍での共同募金運動となりますが、中央共同募金会より示された「衛生配慮に係るガイドライン」により実施してまいります。

誰もが住み慣れた町で安心して暮らすことのできる地域社会づくりのために、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

社会福祉法人 三重県共同募金会
会長 小笠原 まき子



令和4年度目標額 **285,000,000**円

一般募金 246,947,601 円(令和 5 年度事業に充当)、歳末たすけあい募金 36,552,399 円、
地域課題解決型募金 1,500,000 円

一般募金	地域のふれあいサロンやボランティア支援など、地域福祉・在宅福祉向上のために	200,397,601 円	29 市町社会福祉協議会 193,827,601 円 三重県社会福祉協議会 6,570,000 円
	民間社会福祉施設・団体の活動に	1,000,000 円	団体の事業活動のほか施設整備、備品購入などを支援します
	災害時の活動支援のために	8,550,000 円	募金総額の 3%を準備金として積み立てます
	共同募金運動に必要な経費に	37,000,000 円	三重県共同募金会、市町共同募金委員会、中央共同募金会
歳末たすけあい募金 (地域歳末たすけあい募金・NHK 等歳末たすけあい義援金)		36,552,399 円	一人暮らし高齢者、施設利用者の方々
地域課題解決型募金		1,500,000 円	地域の課題解決に取り組んでいる団体

障がい者による芸術文化祭

令和4年度三重県障がい者芸術文化祭 サブタイトルと作品募集をしています。

- 応募期間** 令和4年9月1日(木)～9月30日(金) 必着
- サブタイトル募集** 障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすい内容で20字以内。自作で未発表のものに限ります。作品・発表者募集とは別に1人3点まで応募できます。
(県内に住所を有する方 ※障がいの有無は問いません)
- 作品展** 絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸(版画・彫刻含む)、貼り絵・CG、俳句
(県内に住所を有する障がいのある方)
- ステージ発表** 歌唱、楽器演奏、演劇、踊り・ダンス等。準備等を含め1グループ30分以内とします。
(県内に所在し、出演者の半数以上が障がいのある方)
- 応募方法** 規定の応募用紙により事務局へ郵送、FAX またはメールにてお申し込みください。
応募用紙は、ホームページ(三重県障がい者芸術文化活動支援センター)からもダウンロードできます。
- 開催期間** 令和4年12月23日(金)10時～16時
令和4年12月24日(土)10時～13時(表彰式は13時から)
四日市市文化会館(第1・3・4展示室、第2ホール)
【〒510-0075 三重県四日市市安島2丁目5-3】
- 応募先・お問合せ** 三重県障がい者芸術文化祭実行委員会事務局(公益社団法人 三重県障害者団体連合会)
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 三重県障がい者芸術文化活動支援センター内
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 Email info@mie-asc.jp

令和4年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞) 保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5～7万円 通院時1～3.5万円

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました!

NEW 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉
TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ21-12224 から抜粋)



三重県共同募金会からのお知らせ

令和4年度 NHK 等歳末たすけあい義援金申請団体の募集

NHK 等歳末たすけあい義援金の申請団体を募集しています。

- 1 募集期間** 令和4年9月1日（木）から10月7日（金）まで（消印有効）
- 2 対象事業**
 - ① 身体障がい者（児）、知的障がい者（児）、支援を必要とする高齢者などの配分事業
 - ② 全国テーマの「つながりをたやさない社会づくり ～あなたは一人じゃない～」及び「災害」の配分事業
 - ③ ①を実施するために必要な一般車両・福祉車両整備及び備品などの購入
- 3 応募方法** 本会のホームページ (<https://mie-akaihane.or.jp>) から様式をダウンロードし、郵送または持参してください。

令和4年度テーマ型募金申請団体の募集

共同募金運動の期間拡大期（1～3月）に新しい募金方法のテーマ型募金に取り組む団体を募集しています。

- 1 制度概要** 地域の課題解決に取り組む団体が、その活動を住民の方に広く呼びかけ、住民の方の理解と共感に基づく募金活動をおこない、必要な資金を確保することで、地域福祉の推進につなげていくことを目的としています。
- 2 募集期間** 令和4年9月1日（木）から10月7日（金）まで（消印有効）
- 3 応募方法** 本会のホームページ (<https://mie-akaihane.or.jp>) から様式をダウンロードし、郵送または持参してください。
- 4 団体への支援** ご応募いただいた団体に対しては、説明会を開催するなどの取組み準備をお手伝いします。

お問い合わせ先 社会福祉法人三重県共同募金会 TEL 059-226-2605

上記募集にかかる対象団体や助成額など、制度の詳細については本会のホームページ (<https://mie-akaihane.or.jp>) をご覧ください。



発行人 井村 正勝
編集人 横田 浩一・広報委員会
発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131
TEL : 059-227-5145 **FAX** : 059-227-6618
URL : <https://www.miewel-1.com/> **E-mail** : info@miewel.or.jp
編集協力 株式会社アイリック